

【解説】 アメリカ軍の一番の攻撃対象はアメリカである——。「そんなことは知っている」という人も、「そんなバカなことがあるか」という人もいるだろう。これは世界的な人為的気象破壊によって、一番大きな被害を受けているのがアメリカであることを見ればわかる。しかし以下に見るように、それが明文化されているとなれば、誰もが驚くであろう。デイヴィド・ウィルコックのブログ“The Darkest Hour is Before the Dawn”に、「世界中の軍隊が結束してアメリカ軍をやっつけてくれないだろうか」と言っているアメリカ市民のブログが紹介されている。その観点からでなければ、現在起こっている世界の出来事は理解できない。ここに引用紹介されているのは「ワシントン・タイムズ」の記事である。「ニューヨーク・タイムズ」や「ワシントン・ポスト」は、こんなことを書けないのではないだろうか？

米連邦軍事指令が軍に市民と交戦する権限を与える

——「大規模の予期せぬ騒擾を鎮圧するために」

June 2, 2014

SHTFplan (GeoengineeringWatch.org に転載)



何年も前から米政府は、武器、弾薬、暴動用装備や装甲車を大量に蓄えている。軍当局は、連邦や地方の警察と連携し、国内のすべての法執行当局の混成部隊のようなものによって、十分に武装したヘリコプターから戦車にいたるあらゆる装備を用いて、アメリカの主要都市すべてにおいて軍事訓練をしている。にもかかわらず、これらの影の活動についてのもろもろの疑問は、メディアや公機関によって、国内外のテロに対する我が国の防備の訓練以外の何ものでもないとして、すべて一蹴されている。

しかし大多数のアメリカ人が、こんなことが起きていることを知らないか、または頭を砂に隠し続けているのに対して、Infowars (Alex Jones 主宰の反権力 TV) を経たワシントン・タイムズの新しい記事 (リンク) は、全く別の説明をしている。

この軍備や訓練や反テロ軍事指令は、アフガニスタンのような遠い戦争地域のテロリストに対して用いるものでなく、まさにこのアメリカ市民に向けられたものである。

その通り——あなたがターゲットなのだ。

この指令の不安な側面は、国内の騒乱に対する軍事行動として、兵器や軍隊を動かすアメリカ大統領の権限の概要を述べているところである。

「これはどうやら、アメリカ合衆国内部での米市民に対する軍事力使用についての、政府決定の最新の決定のようだ」と、この指令に反対するある国防官僚は言っている。

軍事指令 3025.18 号「市民官憲の防衛援助」は、2010 年 12 月 29 日に発令され、これは米国の司令官たちが、「この指令の下に緊急事態権限を与えられる」と明記している。

「連邦軍事力は、適用される法に従って、または緊急事態権限によって、大統領による特別の認可が与えられなければ、市民の擾乱の鎮圧に用いることはできない」と、この指令は述べている。

「こうした状況下では、これらの連邦軍司令官たちは、大統領による認可の先行が不可能で、かつ、正当に構成された地方の官憲がその状況を制御できない場合には、2つの条件のもとで、大規模で予想できない市民の擾乱を鎮圧するのに必要な活動に、暫定的に従事する権限をもつ。」

その条件の一つは、「由々しい人命の損失や財産の無意味な破壊を防ぐための、また政府の機能や公的な秩序を取り戻すのに必要とされる」軍事支援の場合である。もう一つ軍事活動ができる条件は、連邦、州、および地方の官憲が「連邦の財産や連邦の政府機能に対する十分な保護が提供できないか、これを断った場合である。」

「軍事力の使用を含む連邦の活動に許可が与えられるのは、連邦の財産や機能を保護するのに必要な場合である」とこの指令は明言している。

軍事援助には、武器、弾薬、輸送手段、航空機の貸与が含まれる。それは騒乱時にお

いて市民と交戦するためのものだと、この指令はつきり述べている。

これは陰謀論とか、政府の軍事行動の扇情的な見方といったものではない。これは米合衆国大統領からの命令のもとで実行される、現実の作戦指令である。

こうした指令がひとたび実行されたとき確実に成功するように、何百億ドルというカネが使われたということは、全く疑いの余地なく、政府が、将来のある時点で、これが現実にかかるように計画していることを示している。そうでなかったら、どうしてこれほどの時間とカネと労力を注ぎ込むだろうか？

このごく最近明らかになった事実は、米政府が、大きく広がった市民の騒乱を鎮圧する計画をもっていることを示している。そして今年之初めに、**Dave Hodges** はこれらの指令のもう一つの重要な面に光を与えた——軍が米国人民に対して立ち上がったとき、殺されなかった市民はどうなるのだろうか？——

あなたに関わってくるはずの 2 つの言葉がある。すなわち拘束と移送である。これをもっと詳しく言う必要があるならば、これら 2 つの言葉は、あなたが自分の家から引き出されて拘留キャンプに移送され、ある不定の期間にわたって、いかなる法律にも定められていないやり方で処遇される、ということの意味する。

官憲は、米国憲法修正第 2 条（銃器保持の権利保証）を支持する者たちに狙いをつけるだろう。

我々の、非合法的な、悪徳銀行屋たちにハイジャックされた政府は、アメリカ人を大量逮捕するという詳細な計画をもっている。それは政府文書の中から出たもので、現実にはアメリカの国土で官憲によって実行されつつある。

過去十年の間、米政府内部の多くの要素が、広範囲な社会不安、暴動、それに法と秩序の消滅をもたらすはずの大きな出来事を予想して、大規模な経済崩壊から巨大な自然界の破局にいたるすべてを含む、あらゆる戦争ゲームのシナリオを考えてきた。

これらのシミュレーションに従って、彼らは上に引証したような作戦指令を実行し始めたのである。

彼らはそれがやって来ることを知っているかのようだ。

その証拠がある以上、すべてのアメリカ人もまた最悪の事態に備え、それがやってくると想定しなければならない。